

ナイチンゲールと病院改革

Florence Nightingale Collection



ナイチンゲールの姉フランセス・パーセノペによるスケッチ
(Royal Collection Trust HPより)

フローレンス・ナイチンゲール コレクション

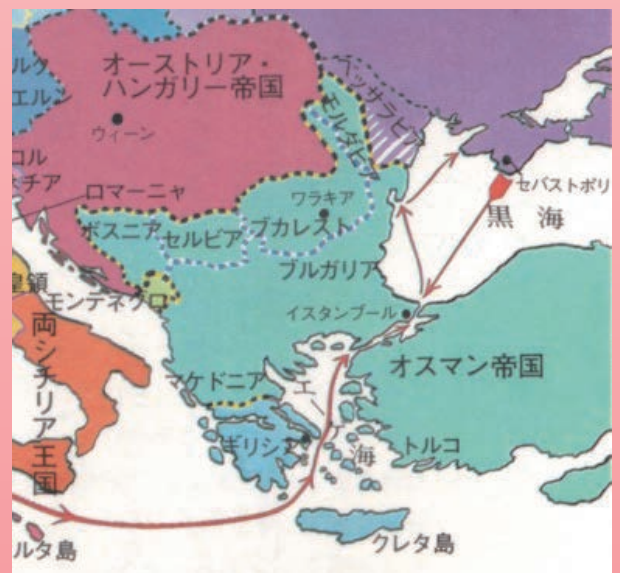
所蔵:石川県立看護大学附属図書館

I フローレンス・ナイチンゲールの生涯

ナイチンゲールは、1820年5月12日（現在、日本では看護の日になっている）にイタリアのフィレンツェで生まれました。ナイチンゲール家はビクトリア朝の名門で多くの著名人と交友があり、後のナイチンゲールの社会的活動における貴重な人脈背景ともつながっています。

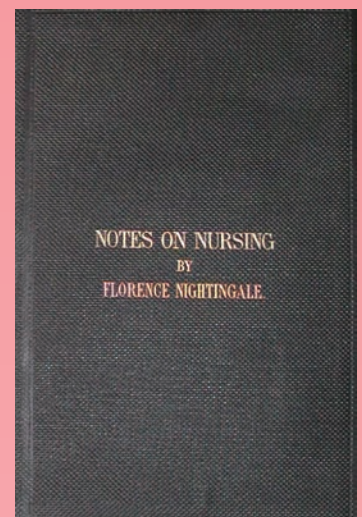
19世紀初頭のイギリスにおける看護婦は、不潔で不道徳で無知な存在だと言われていました。当時、患者の看護が治療と同じくらい重要な意味をもった仕事なのだと理解している人は、彼女以外にはいませんでした。治療とは別に、看護が行われなければ病人は回復しません。彼女は『看護覚え書』でこの看護の力を根拠をあげて理論的に説明しています。一般に考えられているような奉仕と博愛の「ナイチンゲール精神」とはかなり違い、彼女はむしろ献身、従順という言葉を否定的に用いて、自ら責任をもって行動する看護の独自性を主張しています。

ナイチンゲールは、クリミア戦争において陸軍兵舎病院で亡くなった兵士の4分の3は病気が原因であり、戦傷で死んだわけではないことを、経験と情報から統計を駆使して主張しました。そして、陸軍における看護の確かな計画と健全な衛生状態を要求し、本国の議会に現状を訴え改革を成功させました。また、ナイチンゲールは看護実践に携わるものに対して、正式な教育が必要であると一貫して考えていました。看護婦のための教育施設をロンドンのセント・トマス病院とキングズ・カレッジ病院に創設し、専門職としての近代看護の組織化を始めています。看護実践と教育を結びつけた教育方法は、現在の看護教育の基礎ともなっています。学生が病院の労働力の一部として送り込まれることのないように、病院から看護学校を独立させることを主張しています。



スクタリへの道筋

ナイチンゲールは、1910年8月13日、90歳でこの世を去るまで150編以上もの著作を世に出しています。それは陸軍の衛生問題の改善、英国・インドの保健衛生、社会運動、婦人運動など多岐にわたっています。



参考資料

- バーバラ・ハーメリンク著、西田晃訳：ナイチンゲール伝、メヂカルフレンド社、2000年
- 小川典子：フローレンス・ナイチンゲール、黒田裕子編、やさしく学ぶ看護理論、日総研出版、1999年

代表著書
「看護覚え書」
(NOTES ON NURSING)

II コレクションの内容

全28点を所蔵しています。

1. 『看護覚書』の初版本

医療の現場での比類のない実体験に基づき、生来の構想力と知性、そして独創的な表現力によって看護の真髄を語った英文評論の傑作とされるもので、各種の異版が知られています。それぞれの違いについては、ビショップとゴルドイの書誌“Bishop and Goldie: A Bio-Bibliography of Florence Nightingale” (London, 1962)のなかで検証されていますが、当館が所蔵しているものは1860年発行の初版4刷です。

2. 自筆書簡

1) 1858年にイギリスの政治家ローバック氏に宛てられ、陸軍病院改革に関する報告を陸軍省に送ったことを伝える内容の書簡

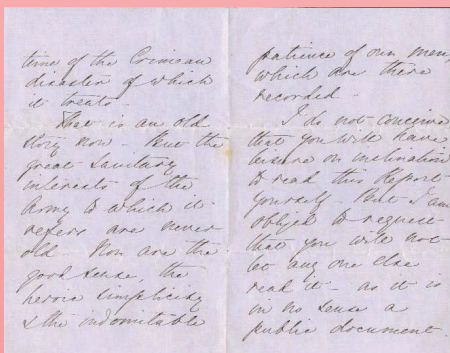
ナイチンゲールは、クリミア戦争での劣悪な病院環境から“多くの兵士達を救えなかった”という苦い思いを強く抱いていました。帰国後、『イギリス陸軍の保健効率と病院管理に影響する事柄に関する覚書』(1858)と題したレポートを陸軍省に提出し、全陸軍の医療体制の変革を要求しました。このレポートが陸軍の衛生に関する王位委員会が組織される原動力となり、ナイチンゲールのめざす変革を軌道にのせることができました。

手紙では、陸軍省にレポートを送ったことをローバック氏に知らせると同時に、変革に協力を求めるものです。ローバック氏は、クリミア戦争の遂行を調査する委員会を設置し、この委員会においてナイチンゲールと看護婦団の献身的な働きを賞賛しました。そして、彼女らの良き協力者の一人として有名です。



1856年36歳当時の写真
(ナイチンゲール博物館HPより)

2) 1868年にラスボーン氏に宛てられ、リバプール看護学校の看護婦の欠員補充を訴える内容の書簡



この手紙には“私信”の印があり、ラスボーン氏に対してナイチンゲールのつらい胸のうちを語ったものです。

ラスボーン氏とは、1861年に地区看護制度の導入を計画したことから親交が始まり、その後、二人は救貧院付属診療所を運営する活動を開始することになりました。

1862年には、救貧院付属診療所へ12人の看護婦と総婦長アグネス・ジョーンズを派遣し、顕著な成果を収めました。しかし5年後、愛弟子と言われたアグネス総婦長をチフスで失い、ナイチンゲールはその後任を探す必要性を訴えました。

3) ナイチンゲールに関連する人々がナイチンゲールへの思いや仕事について書いたものなど5通

ナイチンゲールと親交のあったブレースブリッジ夫妻、ハーバート戦時大臣、ストークス將軍など5人の友人が、ピーター・ピンコフス博士に宛てたものです。

ピンコフス博士は、グリーンヘイズ売春婦更正施設の医師で、1855年の春からスクタリの軍病院の文民医師として職務に携わっています。Military SanatoriaやExperiences of a Civilian in Eastern Military Hospitalsの著者としても知られ、特に後者の第7章にはナイチンゲールの仕事について書かれていることから、クックのナイチンゲール書誌 List of Some Writings about Miss Nightingaleにも紹介されています。

ブレースブリッジ夫妻は、1846年にナイチンゲールとの知遇を得て、以後ナイチンゲールの生涯に大きな役割をはたし、ナイチンゲール基金理事会のメンバーになっています。

シドニー・ハーバートは、1847年頃にローマでナイチンゲールと知り合い、夫婦で親しく交友するようになりました。アバディーン内閣では戦時大臣を務め、クリミア戦争勃発の際にはナイチンゲールに面会してスクタリに看護婦団の派遣を決定し、ナイチンゲールを総婦長に任命しました。クリミアの軍病院では、ナイチンゲールを全面的に支援し、戦後陸軍の衛生・医務改革の主力となり、勅撰委員会の委員長となっています。

サー・ヘンリー・ストークス將軍は、スクタリの司令官としてナイチンゲールに協力して兵士のための娯楽施設設立を実現し、勅撰委員会委員や1864年にはマルタ司令官を務めています。

3. 自筆著名入献本

ナイチンゲールが、インドの教育・衛生問題等について書かれた著作に感銘し、その著作に自らのサインを入れて活動の支援者ヘンリー・アックランドへ贈った図書です。

クリミア戦争後、インドの衛生問題に関心を抱き始めていたナイチンゲールが、感銘して読んだチャールズ・マクノートの著作 (Common thoughts on serious subjects, 1896) を、オックスフォード大学医学欽定講座担当教授ヘンリー・アックランドに贈ったもので、“これこそ真の伝道”という献辞が書かれており、ナイチンゲールの考え方的一端を知る貴重な文献といえます。

チャールズ・マクノートは、インドのカチャワルにあるラージャクアール・カレッジの校長で、この文献には動物愛護やインドの大学教育、健康などに関する多くの批評が収録されています。アックランドはナイチンゲールの親友であり、その活動の強力な支援者のひとりでもありました。

4. ナイチンゲール著作・論文11点

『ジャウエット軍曹の日記』は、クリミア戦争の際に負傷してナイチンゲールの看護を受けたジャウエット軍曹が書き残したもので、ナイチンゲールはこの回想に非常に関心を抱き、出版社に手紙を送っています。この第2刷にはその手紙が標題に続き加えられています。ナイチンゲールの書誌にもあまり紹介されていない珍しい一書です。このほか、「病院の衛生状態に関する覚書」(1859)「病院統計と病院計画」(1862)「陸軍の衛生管理」(1862)「植民地の原住民学校の衛生統計」(1863)「オーストラリアの原住民に関する覚書」(1864)「インドで何人が生き、そして死んでいくのか」(1873)など、いずれも「国民社会科学新興協会」の年報に寄稿された貴重な論文となっています。



5. ナイチンゲールに関する著作13点

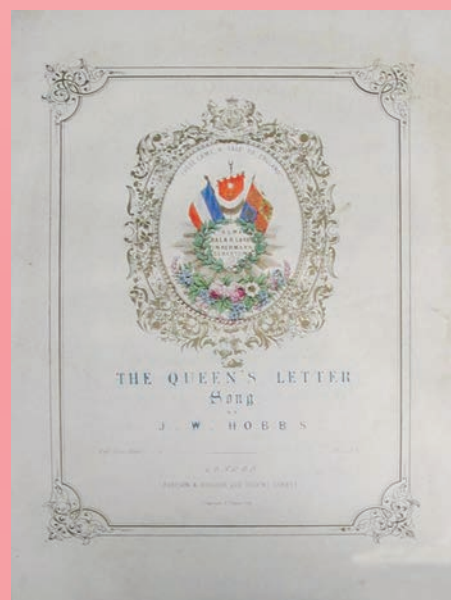
伝記や研究書は、13点が集められています。ここには看護婦第2陣として戦地へ赴いたミス・ファニー・M・テイラーが1856年に書いたスクタリの病院の回想や、テイトの病院の実態調査などを含め、当時の病院の実態や看護、そしてナイチンゲールの伝記などがあります。

6. 楽譜

クリミアから帰国する前から、ナイチンゲールの人気は絶大でした。クリミアの兵士達からの手紙で彼女の名前はイギリス国内で広い人たちに知られており、国民的な英雄となっていました。

この資料も当時、詩やポピュラーソングに歌われたり、演奏されていたもので、イギリス国内のナイチンゲールに対する高揚した雰囲気伝える一品です。

なお、楽譜の最初のページにはビクトリア女王からの手紙が公開されています。



晩年のナイチンゲール(中央)
—看護婦達に囲まれて—